

# 具体の取り組み（手法）について

## □ 全体会議

※ 具体の取り組み（手法）について、全体会議により、議論を深めるとともに、新たな具体案についても提案、協議いただきたい。

- ◆ これまでの検討会議での意見
- ・ 町会費の使い道が分かりづらい
  - ・ 町会に関わっていない市民に、もっと町会活動を知ってもらう必要がある

- 視点を変わると
- ・ 会計処理が見えづらい
  - ・ 総会など意思決定や合意形成への不参加
  - ・ 活動への関心不足

### 取り組みの方向性 (3) 透明性・信頼性の確保

提 案	これまでの検討会議で既に提案された具体の取り組み(手法)
■ 町会活動の見える化	○ 分かりやすい広報紙の作成 ○ 町会への加入世帯、未加入世帯に関わらず、広報紙や総会資料などの配付
■ ICT化の促進	○ ホームページなどで町会活動のPRや総会資料の開示 ○ オンラインを活用した町会活動
■ その他	○ 業務を支援する人材の発掘や育成 ○ 会計ルールや組織運営のガイドラインやひな形の作成 (誰にとっても分かりやすい明解な記載方法で総会資料を作成)

## □ グループ分け協議

※ 具体の取り組み(手法)について、グループに分かれて、議論を深めるとともに、新たな具体案についても提案、協議いただきたい。

### 取り組みの方向性

#### (4) 負担感の軽減

◆ これまでの検討会議での意見（別紙参照）

提 案	これまでの検討会議で既に提案された具体の取り組み(手法)
■外部人材の活用	○町会ボランティアとしての人材の確保
	○経験を活かせる人材の活用
■気軽に参加しやすい仕組みづくり	○義務的にならない軽いお手伝いの呼びかけ
■新たな手法による財源の確保	○クラウドファンディングなどの活用
■企業や団体等との連携	○他町会との情報交換会の実施
	○地域内の企業や団体などとの関係づくり
	○企業、福祉団体、学校や近隣町会など共同による活動の実施
■その他	○町会の活動内容の見直し
	○町会費の公平負担や集金方法の見直し

## 町会が負担に感じている課題や問題

○これまでの検討会議で出された意見（町会ヒアリングでの重複意見を含む）

取り組みの方向性	課題・問題
負担感の軽減	班長や区長の業務で集金の負担が大きい。
	役員や班長のなり手が不足している。
	班長は、町会費の集金以外に、他の集金(募金・まつりなど)、総会の委任状回収なども負担に感じている。
	地域的にほぼ全員加入しているが、役員のなり手不足は深刻である。（東部地区）
	共働きが増え、勧誘や集金に行っても会うことが難しい。
	活動全般に対しマンパワーが不足している。
	町会役員のほかに民生委員や保護司などの兼務により負担が大きい。
	色々な活動を行いたい予算が足りない。

○町会ヒアリングで出された意見

取り組みの方向性	課題・問題
負担感の軽減	退職年齢の延長や自営業者の減により役員のなり手が不足している。
	役員に定年がないため、一度引き受けると高齢になっても辞められない。
	活動への参加者が増えず会員数だけ増えると、現在の役員の負担が増す。
	学校やPTAからの依頼が多く、ウィンウィンの関係になっていない。
	役員になると、行事への参加等が当たり前になりプレッシャーが大きい。